

まちの応援マガジン いなわしろ

# 広報 猪苗代

Feb.2012

2

No.616

Proud!

東日本大震災の復興を支援しよう

Japan



特集

誓い



猪苗代・翁島・千里地区の新成人

## 特集 誓い

20歳を迎えた若者の成人を祝うとともに、  
成人としての責任や義務を理解し、  
自覚を持ってもらうための儀式。それが成人式だ。  
晴れの門出を迎え、式に臨んだ新成人は、  
その成長を見守ってきた人々は、  
何を感じ、何を思うのだろうか



月輪・長瀬・吾妻地区の新成人



## Pick Up

今月のイベント

### 会津磐梯山エリアを 国内外に発信

スキーリゾートふくしま創造  
会議は1月4日、遠藤尚選手  
(株)忍建設スキー部)と星野  
純子選手(チームリステル)の  
両選手とスポンサー契約を締結  
町役場で記者会見を開きました。  
同会議は、昨季から本県ゆか  
りの選手と契約を締結。地域が  
一体となってモーグルトップ選  
手を支援するとともに、ウエア  
に貼り付けた「会津磐梯山エリ  
ア」の文字入りワッペンで、地  
域の認知度アップを図ります。  
今季は、東日本大震災からの復  
興の願いを込め、ワッペンに  
「絆」の文字を入れました。

記者会見に臨んだ遠藤選手  
は「東北にもっと元気を与える  
滑りをしたい。一つでも多く表  
彰台に上りたい」と力強く語り、  
星野選手は「活躍して、少しで  
も会津磐梯山エリアをPRした  
い」と抱負を述べました。

※スキーリゾートふくしま創造会議  
本町を含む磐梯山周辺地域の3町村  
(猪苗代町、磐梯町、北塩原村)と  
地域内のスキー場、スキー関係団体、  
商工・観光団体、NPO団体や県な  
どで構成する団体。磐梯山周辺地域  
におけるウインタースポーツの基盤  
強化と支援体制の充実を図るとも  
に地域の活性化を目指して事業を実  
施している。

## まちの応援マガジン いなわしろ 広報 猪苗代

Feb.2012  
2  
No.616

### 今月の表紙



【撮影日】 1月8日  
【撮影場所】 学びいな

町の平成24年成人式  
は学びいなで開かれ、  
会場は晴れの日を迎え  
た新成人158人の笑  
顔であふれました。  
写真は「自立した大人  
に成長したい」と笑顔  
で答えた渡部由紀さん  
(左)と渡邊晴香さん  
(右)

## Contents — 【目次】

- 02 Pick up
- 03 特集 誓い
- 08 個人線量計測定結果の概要
- 09 町施設の温室効果ガス排出量を公表します
- 10 スクールトピックス & ニュース INAWASHIRO
- 12 まちの話
- 14 笑顔でこんにちは／サークル紹介／保健だより
- 16 学びの泉
- 18 いなわしろタウンページ
- 22 暮らしの情報広場
- 24 みんなの美術館／食生活改善推進員コーナー

# 二十歳の誓い

町内の新成人 158人

24年の町成人式は1月8日、学びいなどで執り行われ、男子92人、女子66人の計158人が新成人として晴れの門出を迎えた。

「おっ！ 久しぶり」  
「きゃあー 元気だった？」  
満面の笑みを浮かべ、久々の再会を喜ぶ新成人たち。学びいなどの廊下に響き渡る喜びの声は、式が始まる直前までやむことはなかった。

式では前後町長が「若い人たちは将来が見えにくい時代。一人一人が、目標と揺るぎない信念を持って社会を切り開いてほしい」と式辞を述べた後、町内6地区の代表者にそれぞれ成人証書を手渡した。  
鈴木武喜町議会議長、小檜山善継県議が祝辞を述べた後、成人代表の土屋恒人さんが「私たちは、震災後の新しい価値基準



01



03



02



04

を作り上げていく第一世代。力を合わせ若く豊かな想像力を存分に発揮すれば、立ち上がる猪苗代町、強い福島、そして、明るい日本を作り上げることができる。それが私たちに与えられた使命の一つ。多くの人たちとの絆をより一層大切にし、自分が選んだ道をしつかりと歩んでいく」と宣誓。会場は大きな拍手に包まれ、式は盛会のうちに幕を閉じた。

新成人へのインタビューでは、これまでの人生や未来に向けての思いなどを聞いた。

両親への感謝、東日本大震災、古里への思い、夢や目標など、新しく大人の仲間入りをした彼らを感じていたことの一部を紹介する。

## 五十嵐裕之 さん

震災や原発事故などがあり、亡くなった人も大勢いる。そんな中で成人を迎えられたことに感慨深さと責任を感じています。成人式では、久しぶりに友達と会えてうれしいです。育ててくれた両親に感謝しています。今は大学生なので、勉強を頑張りたいです。



Igarashi Yasuyuki

## 関和 瞳 さん

震災から今日まで、福島県の報道を目にしない日はなく、古里の深刻な状況を思うと胸が痛みます。福島県の国語教師になるのが私の夢。教師として福島復興の役に立っていきたくです。大学に入学し親元を離れたこともあり、家族に対する感謝の気持ちをあらためて感じています。



Sekiwa Hitomi

## 小椋 謙斗 さん

航空自衛隊百里基地に勤務しており、震災後は災害派遣で松島に行きました。被災地の想像を絶する光景や被災者の思いを肌で感じた経験から、二十歳になった今、新成人の若い力で日本を復興させたいと思います。親には、20年間育ててくれた感謝の思いをあらためて感じています。



Ogura Kento

## 吉川 夏海 さん

専門学校に通っていた私は、仙台で被災し避難所での生活を体験しました。家族や友達とも全く連絡が取れず、混乱した状況の中で、人とのつながりや支え合うことの大切さを感じました。現在は歯科助手の仕事をしています。仕事で親孝行できるように頑張っていきたいです。



Yoshikawa Natsumi

## 兼田 賢明 さん

東日本大震災の時は大学のある千葉にいました。電話もつながらない混乱の中、何よりも実家の家族が無事かどうか心配でした。両親に厳しく育てられたことは、今、自分の財産になっています。感謝の気持ちを込めて充実した大学生活を送り、勉強に励みたいです。



Kaneta Takaaki

## 長田 遥 さん

あの震災を乗り越えて、みんなでまた会うことができました。成人式を迎え、あらためてその喜びを感じています。現在は会社員として事務の仕事をしています。社会人として、一日でも早く一人前になれるように仕事を頑張りたいです。



Osada Haruka

## 安部 貴市 さん

震災は商工業に多大な影響を与えていますが、社会の中で人と人が協力する気持ちが芽生えたと思います。成人式は育ててくれた両親に感謝をする日。この気持ちを忘れずに頑張ります。リオンドール猪苗代店で魚を扱っているので、お客様に満足してもらえる商品づくりに努めていきたい。



Abe Takaichi

## 新成人から ひと言

楽しかったあの頃があった人知れず悩んだ日もあった未曾有の大震災も経験した幾多の困難を乗り越え、晴れの門出を迎えた新成人に今の気持ちを聞いた

2回目の成人式を迎えた  
40歳の先輩から新成人へ  
メッセージ



町企画財務課  
土屋 伸 主査

成人を迎えた皆さん、大人の仲間入りおめでとうございます。

新成人に何かメッセージをということですが、今私から皆さんに何かを伝えるとしたら、若いうちに積極的に人や地域と関わる活動をしてほしいということです。地域の消防団や青年会、女性なら趣味のサークル活動など、いろいろな年代、いろいろな地域の人と関わり合うことは、自分の世界を広げることになります。そうした他人との関わりの中から、社会の中で自分に求められている役割、自分のやりたいことや目指したいことなどのヒントが得られるかもしれません。まずは無理のないところから始めるのがいいと思います。

震災後の県内は大変な状況にあり、生活も就職も厳しい時期です。しかし、そんな状況を打破できるのも若い世代のアイデアや行動力です。これからの社会を、復興を支えていく仲間として、一緒に力を合わせて頑張っていきましょう。

町外に転出した人も、その転出先で、自分の生まれ育った猪苗代の置かれた状況やいい所をどんどん広めていってほしいです。もしかしたらそこから新しいつながりが生まれるかもしれません。



成人おめでとうございます

# 二十歳への誓い

「できれば地元に戻ってきたい」「復興のために頑張りたい」  
紹介しきれなかったいろいろな意見がある。  
「田舎じゃないところで暮らしたい」という人もいる。  
全ての人が安心して暮らせる猪苗代へ。  
前後町長がまちづくりへの決意を語る。



新成人の皆さんの猪苗代や福島を大切に思う気持ち。地元に戻って、こちらで頑張りたいという声なども聞けて、大変頼もしくうれしく感じています。同時に、行政としては、その気持ちに応える努力を怠りたくはないと思っております。そのためにはまず、若い人の働く場所を確保することが必要です。現在計画が進んでいる道の駅、地熱発電や企業誘致などでさらなる雇用の拡大に努めていきます。

新しい図書館には、子どもたちが勉強できるスペースを併設します。大人の目が届く場所であれば、親も安心して働ける。子どもたちも安心して勉強に取り組めるはずです。生産年齢人口はどんどん減少しており、超高齢化社会が目前に迫っている。若い世代や高齢者が、老後に不安を感じるようでは町に住むことはできません。医療機関から近い場所に高齢者住宅を建設すれば、安心して医療を受けられると同時に、町のにぎわいづくりに資することができる。福祉計画の見直しは現在進行中です。



猪苗代町長 前後 公  
Zengo Hiroshi

成人式は、20歳の成人を迎えた若者を祝う場であるとともに成人としての責任や義務を理解し、自覚を持ってもらうための儀式だ。同時に、新成人にとっては、これまで見守り育ててくれた親や地域に、感謝の気持ちを伝える場でもある。

成人式のルーツは、戦後間もないころの埼玉県蔵町(現蔵市)にある。敗戦に打ちひしがれた若者たちを励まそうと地域住民が開いた「青年祭」が、しだいに全国に広まり、現在の成人式に発展していったのだ。

現在、地方自治体が主催し、一定の年齢になった人を集めて祝うのは成人式くらいだろう。全国に目を向ければ、毎年のように騒動が起きており、モラルの低下が叫ばれている成人式。そんな成人式が、ずっと続けられきたのは、地域や自治体が新成人に寄せる期待の大きさの表れであると思う。

少子高齢化が進み、生産年齢人口が減少していく中で、若い世代が果たす役割はますます大きくなっている。若者たちの持つエネルギーや新しい発想。働き盛りの年代が持つ技術や経験。それらをうまく組み合わせ、新しい時代に合わせた施策を作り上げることが必要だ。

成人式のルーツとなった青年祭の頃と震災からの復興を目指す現在の日本の状況は、少し似ているかもしれない。しかし、あの頃と違うのは、新成人たちが力強く立ち上がり、家族、地域や国を励まそうと考えていることだ。

「この町で働きながら、この町の人々を笑顔にしたい」「大学で勉強したことを地元で生かしたい」そう話す新成人たちが、猪苗代に住んで良かったと思う町を、新成人がその力を十分に発揮できるような町を作らなければならぬ。

そんな受け皿づくりを、町を、地域を挙げて進めていくことを新成人たちに誓おう。

特集 誓い 終わり

# Stop Greenhouse Gas

# 個人線量計 測定結果の概要



昨年の10月、第1回の線量計配布の様子

## 町施設の温室効果 ガス(二酸化炭素) 排出量を公表します

町では、22年4月に「第1次猪苗代町地球温暖化対策実行計画」(以下「実行計画」といいます)を策定しました。この実行計画では、19年度を基準年とし、計画期間の最終年度である26年度の二酸化炭素排出量を基準年と比較して6%削減することを目標としています。

実行計画では、町の施設(※注1)から排出された温室効果ガス(※注2)の排出量を毎年公表することとしています。今月号では、22年度に町の施設から排出された温室効果ガス(二酸化炭素)の排出量を公表します。

表1は、19年度と22年度の燃

町内の平均値は  
0.03ミリシーベルト

町内の妊婦と中学生以下の子どもに配布した個人線量計の測定結果の概要を公表します。

測定対象期間は、23年10月3日から12月1日までの60日間で、この期間の猪苗代町の自然放射線量相当量の0.06ミリシーベルト(以下mSv)を除いた数値が測定結果になっています。

測定総数は1,784人で、最高値は0.62mSv、平均0.03mSvでした。国が示す暫定基準値1mSvに満たないと予測される0.16mSv以下が1,776人で99.55%を占めています。

今回の測定結果に対する評価や助言などについては、福島県アドバイザリーグループに依頼し、あらためてお伝えします。

### ▼問い合わせ先

保健福祉課 健康づくり業務  
☎(62)2115

料などの種類別の使用量と二酸化炭素排出量を比較したものです。22年度の二酸化炭素排出量の合計は、基準年である19年度と比較して17.83%の増加となりました。

増加の主な要因は、20年度に優良堆肥製造施設、21年度に体験交流館がそれぞれ供用を開始したことによるものです。仮に優良堆肥製造施設と体験交流館を除いた場合の22年度の二酸化炭素排出量を計算すると256万6,193kg-CO<sub>2</sub>となり、19年度と比較しても0.4%の増加にとどまります。

次に、燃料などの種類別の二酸化炭素排出量ですが、増加率が最も高かったのは「軽油」の32.18%、続いて「電気使用量」の24.36%となりました。逆に減少率が最も高かったのは「A重油」の△27.83%となりました。

表2では、種類別の二酸化炭素排出量増減の主な要因についてまとめました。今後も各施設において、照明、空調などの適正な管理や公用車エコドライブの推進、再生可能エネルギーの導入などに取り組み、目標達成に向け計画の推進に努めていきます。

### ▼問い合わせ先

企画財務課 企画調整業務  
☎(62)2112

表1 種類別の使用量と二酸化炭素排出量

種類	H19 使用量	H22 使用量	H19 排出量 (kg-CO <sub>2</sub> )	H22 排出量 (kg-CO <sub>2</sub> )	比較 (%)
ガソリン	32,502 ℓ	31,333 ℓ	75,459	72,744	△ 3.60
灯油	161,415 ℓ	170,233 ℓ	401,840	423,792	5.46
軽油	87,878 ℓ	116,153 ℓ	230,174	304,233	32.18
A重油	57,500 ℓ	41,500 ℓ	155,804	112,450	△ 27.83
液化石油ガス(LPG)	8,330 kg	8,193 kg	24,992	24,581	△ 1.64
電気使用量	3,004,986 kwh	3,736,851 kwh	1,667,767	2,073,952	24.36
合計			2,556,036	3,011,753	17.83

※注1 町の施設

実行計画の中で対象としているのは、役場庁舎・水防センター・農村環境改善センター・優良堆肥製造施設・体験交流館・ふるさと歴史館・むかし体験館・水道施設・下水道施設・保育所・幼稚園・小学校・中学校です。今回はその合計値を集計しました。実行計画では指定管理者制度で外部委託している町の施設は対象外としており、指定管理者には可能な限り実行計画の趣旨に沿った取り組みを実践するように要請しています。

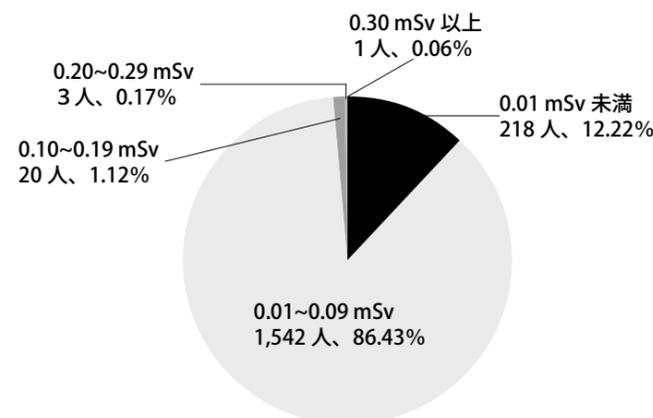
※注2 温室効果ガス

地球を暖める温室効果の性質を持つ気体のこと。京都議定書では、二酸化炭素(CO<sub>2</sub>)・メタン(CH<sub>4</sub>)・一酸化窒素(N<sub>2</sub>O)・ハイドロフルオロカーボン(HFC)・パーフルオロカーボン(PFC)・六フッ化硫黄(SF<sub>6</sub>)の6種類を温室効果ガスの規制対象としています。

表2 種類別の二酸化炭素排出量増減の主な要因

種類	増減率 (%)	主な要因
軽油	32.18	・「優良堆肥製造施設」ダンプ・ローダの使用増 ・「体験交流館」バスの使用増 ・「町除雪車」の出動回数増
電気使用量	24.36	・「優良堆肥製造施設」の使用増 ・「体験交流館」の使用増
灯油	5.46	・「体験交流館」の使用増
液化石油ガス(LPG)	△ 1.64	・「中学校」での調理、給湯への使用減
ガソリン	△ 3.60	・公用車のハイブリッドカー・低燃費車への更新による減
A重油	△ 27.83	・役場庁舎の冷暖房使用管理による減

測定値ごとの人数と割合



測定値 (mSv)	人数	割合 (%)
0.01 以下	218 人	12.22
0.01 ~ 0.09	1,542 人	86.43
0.10 ~ 0.19	20 人	1.12
0.20 ~ 0.29	3 人	0.17
0.30 以上	1 人	0.06
合計	1,784 人	100.0

※今回測定した結果から1年間の推計累積積算量を計算する場合

$$\text{上記結果数値} \div 60 \text{日(装着日数)} \times 365 \text{日} = 10 \text{月以降1年間の推計累積積算量}$$

$$\text{(計算例)} 0.16 \text{mSv} \div 60 \text{日(装着日数)} \times 365 \text{日} = 0.97 \text{mSv}$$

●途中から申し込みをした人は、装着日数を確認し計算してください。



果敢な滑りで2種目連覇を果たした大山瑠



1年生ながら2種目制覇を果たした猪俣美彩

## スキー大会で中高生が活躍

1月に入り、県内のスキー場やクロスカンリースキーコースでは、次々とスキー大会が開催されています。選手の皆さんの素晴らしい成績の一部を紹介します(成績上位者多数のため、3位までの紹介とします。敬称略)。

### ・第57回県高校体育大会スキー大会 (1月11日～13日)

- 男子距離クラシカル 10キロ  
優勝 佐藤和貴(猪高2年) 3位 増子勇兵(猪高1年)
- 女子距離クラシカル 5キロ  
優勝 五十嵐訓子(猪高3年) 2位 喜多見未来(猪高2年)
- 男子大回転 優勝 大山瑠(猪高3年)
- 女子大回転 優勝 猪俣美彩(猪高1年)
- 男子距離リレー、女子距離リレー 優勝 猪苗代高
- 男子回転 優勝 大山瑠(猪高3年)
- 女子回転 優勝 猪俣美彩(猪高1年)
- 男子距離フリー 15キロ 2位 佐藤和貴(猪高2年)
- 女子距離フリー 10キロ 2位 長田 愛(猪高1年)
- 3位 喜多見未来(猪高2年)



写真上 警察署の署長室で、内山署長から委嘱状を手渡される2人。リリしい制服姿がお似合いです。  
写真下 立派に一日警察署長を務めた金子さん(左)と東條くん(右)。

## 園児2人が1日警察署長に

「110番の日」の1月10日、猪苗代警察署では一日警察署長の委嘱状交付式が挙行政され、猪苗代幼稚園の園児2人に委嘱状が交付されました。

委嘱を受けたのは、年長組の東條雄途さんと金子優海さん。内山保署長は「幼稚園に戻ってからも、お友達に交通安全を呼び掛けてください」と話し、2人に委嘱状を手渡しました。

委嘱を受けた2人は、一日警察署長として猪苗代スキー場での街頭啓発活動に出発。署員と協力しながら、スキー客などにチラシや啓発グッズを配布し、正しい110番利用を呼び掛けました。

大役を終えた東條くんは「お客さんにチラシを配ったのが楽しかった。敬礼をして一緒に写真も撮ったよ」、金子さんは「最初は自分にできるかなと思って緊張したけど、楽しくできたのでよかった」と笑顔で感想を述べました。

# スクールピックアップ & ニュース INAWASHIRO

### ・第54回県中学校体育大会スキー競技大会 (1月16日～18日)

- 男子距離フリー5キロ 優勝 安部晃史(東中3年)
- 2位 鈴木蓮(東中2年) 3位 斎藤涼(東中3年)
- 女子距離フリー3キロ 3位 渡部未朋(猪中3年)
- 男子距離クラシカル5キロ 優勝 安部晃史(東中3年)
- 2位 神汰輝(東中2年) 3位 鈴木健大(猪中3年)
- 女子距離クラシカル3キロ 3位 渡部未朋(猪中3年)
- 男子距離リレー 優勝 東中、2位 猪苗代中
- 女子距離リレー 優勝 猪苗代中
- 男子複合 優勝 渡部大輝(猪中2年)
- 男子ジャンプ 優勝 渡部大輝(猪中2年)



男子距離3種目を制覇した安部晃史



男子距離リレー優勝の東中学校 (左から鈴木、斎藤、安部、神)



女子距離リレー優勝の猪苗代中学校 (左から増子、渡部、武田)

### ・第48回東北中学校スキー競技大会 (1月23日～25日)

- 男子複合 4位 渡部大輝(猪中2年)
- 男子距離リレー 5位 東中



## 児童らにスキー用具を貸与

猪苗代スキークラブ(五十嵐憲雄会長)は1月11日、町内に避難し小学校に通う児童ら25人にアルペンスキーセット一式を貸し出しました。

町内の小学校では、体育の授業の中にスキーを取り入れています。浜通りや中通りのほとんどの児童はスキーの道具を持っていないため、同クラブが協力を申し出たものです。

貸与式は同日、町役場で挙行政され、同クラブの神田功副会長とクラブが管理する幸陽の杜の小松山辰裕支配人が、菅野優馬さん(猪苗代小5年)と高野祐華さん(長瀬小5年)にスキーセット一式を手渡しました。猪苗代に来て初めてスキーをしたという菅野さんは「町内でスキーができることにびっくりした。これからはスキーをしたい」、高野さんば頑張って練習をして、上手に滑れるようになりたいです」とお礼を述べました。



写真上 (左から)小松山支配人、神田副会長からスキーを受け取った高野さんと菅野さん  
写真下 「練習をして上手に滑れるようになりたい」とお礼を述べる高野さん



## 町内のトップを切って初市

町商工会長瀬支部が八日市を開催



地区住民の笑顔があふれた会場の様子

長瀬地区の初市「八日市」は1月8日、川桁防災センター前で開催されました。市開きでは、町商工会長瀬支部の石田信義支部長が「風評に負けず、商工業も頑張っていきたい」、川桁地区の長澤一夫区長が「復興のためには、私たち一人一人が前に進むとする気持ちが大切」とあいさつ。川桁謡真鼓楽会の勇壮な太鼓演奏がオープニングに華を添えました。

晴天に恵まれた広場には、起き上がり小法師、風車やだるまなどの縁起物、同支部女性部による焼きそばやたこ焼きなどの露店が出店され、地区住民らでにぎわいました。

## 佐藤シノさんが満100歳に

長寿を祝い、知事賀寿などを贈呈



佐藤さん(左)に賀寿を手渡す前後町長(右)

1月5日に満100歳の誕生日を迎えた佐藤シノさん(下館)への知事賀寿贈呈式は同日、町立猪苗代病院で挙行されました。

山口靖明会津保健福祉事務所長が、知事賀寿と記念品の会津漆器の木杯を贈呈。続いて前後町長と戸田忠義町老人クラブ連合会会長が賀寿や記念品を贈った後、ひ孫の佐藤翼くんらが花束などを手渡しました。

「80歳くらいまでは、病気一つしたことがなかった。若いころは一生懸命農業に取り組んでおり、それで体が丈夫になったのでしょう」と長男の光男さんは話しました。

## 博士の生家を鮮やかに飾る

野口英世記念館恒例のだんごさし



色とりどりのだんごなどを飾りつける児童

翁島小学校の1年生と3年生の合わせて約30人は1月12日、野口英世記念館内の博士の生家で、豊作や家内安全などを祈る小正月の伝統行事だんごさしを体験しました。

八子弥寿男館長のあいさつの後、同館の鬼多見浩さんがだんごの色ごとに込められた願いなどについて説明。その後、児童らは居間に設置された大きなミズキの木に、紅白や緑・黄色など色とりどりのだんごやふなせんべいなどを飾りつけました。

3年生の内田洸太さんは「4年生になっても、勉強やスポーツを頑張れるように祈りながら飾りをつけました」と話しました。

## 年頭に無火災・無災害願う

町消防団幹部らが出初め式を挙行



町民の安心、安全な生活を祈願しました

今年1年の無火災、無災害などを祈願する出初め式は1月6日、町内の諏訪神社で執り行われ、町消防団幹部など約40人が出席し、玉串をささげて町民の安全を祈願しました。

神事後、前後町長が「不屈の消防魂で訓練され、不測の事態に備えてほしい」とあいさつ。土屋孝彦団長が「それぞれ仕事を持ちながらの消防団活動は大変だが、地域住民の生命・財産を守るという使命のもと、団員としての職務に精励してほしい」と団幹部らを鼓舞した後、鈴木武喜町議会議長、小檜山善継県議らが祝辞を述べました。

## 防火・防災の意識を高める

婦人団体が防火・防災研修会実施



住警器の有効性・重要性などを学ぶ会員ら

町婦人連絡協議会、町交通安全母の会、町婦人消防連絡協議会の3団体による防火・防災研修会は1月25日、猪苗代四季の里で開かれ、会員ら45人が防火・防災の決意を新たにしました。

猪苗代消防署の目黒安男予防係長、町総務課防災担当の渡部克宏主査が講師を務め、火災を出さないための日ごろの心構え、119番の正しい利用法や災害への備えなどについて講演しました。

同団体の宇月静子代表は「防火・防災全般にわたる話が聞けて大変勉強になりました。住宅用火災警報器の重要性もあらためて理解しました」と感想を述べました。

## 縁起物などを求め長蛇の列

新春恒例の十三日市が開催される



縁起物などを求める多くの買い物客でにぎわった商店街

新春恒例の初市「十三日市」は1月13日、中央通り商店街で開かれました。オープニングセレモニーでは、大川原勝人実行委員長が「猪苗代から福島を元気を発信したい」とあいさつ。神事、鏡開きや町芸能保存会の太鼓演奏の後、先着200人に福袋がプレゼントされました。

通りには起き上がり小法師、風車やだるまなどの縁起物や飲食物の露店が並び、多くの買い物客でにぎわいました。また、昨年末に町商工会が販売した商品券で買い物をした人が応募できる抽選会も開催され、豪華賞品当選者の発表に会場が沸きました。

# 高齢者が元気で生き生きと過ごすために

表1 本町の人口の推移(福島県現住人口調査:10月1日現在)

	昭和55年	昭和60年	平成2年	平成7年	平成12年	平成17年	平成22年	平成23年
総人口	19,717	19,146	18,839	18,874	18,178	17,009	15,805	15,691
高齢者人口	2,546	2,876	3,528	4,252	4,750	5,006	4,890	4,810
高齢化率(%)	12.9	15.0	18.7	22.5	26.1	29.4	30.9	30.7
前期高齢者比率(%)	8.2	9.6	11.7	13.8	14.6	13.8	12.6	12.0
後期高齢者比率(%)	4.7	5.4	7.0	8.7	11.5	15.5	18.4	18.7
40~64歳人口比率(%)	35.1	34.7	34.2	33.7	33.2	33.3	33.6	34.0

本町の人口は23年10月1日現在で1万5691人です。65歳以上の高齢者人口は、17年以降、23年まで減少傾向にありましたが、今後は団塊の世代が65歳を

本町の高齢化の実態は

迎えることから増加が予想されます。それに伴い、高齢化率も上昇すると思われます。

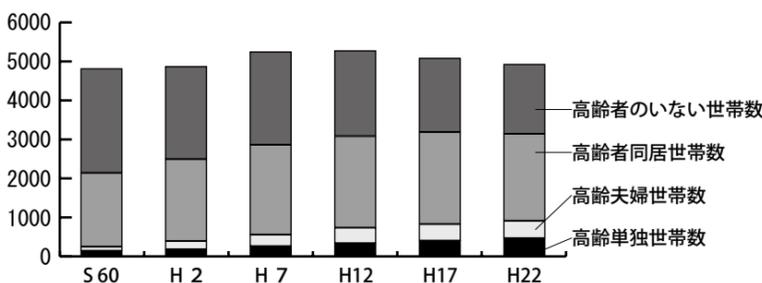
本町の世帯数は、図1のとおり12年まで増加傾向にありましたがその後は減少しています。しかし、高齢者夫婦世帯数や高齢者単独世帯数は年々増加してきており、今後もこの傾向が強まるものと予測されます。

介護の認定者数については、12年4月の介護保険制度施行開始以来増加してきましたが、近年は認定者の伸びが穏かになり、23年9月末では911人となっています。

介護サービスには、在宅で利用するサービスが中心の居宅サービスと、施設に入所することによる施設サービスがあります。また、可能な限り住み慣れた自宅や地域で生活できるように、柔軟なサービスの提供を行う地域密着型サービスもあります。

居宅サービスでは、要介護状態が軽度の人(要支援1・要支援2)の利用と、要介護の人の短期入所療養介護(ショートステイ)の利用が増えてきています。施設サービス利用者については、特別養護老人ホームや老

図1 世帯数の変化(国勢調査)



人保健施設が増加していることから利用者も増加傾向にあり、入所希望者も増えてきています。

**元気な老後を過ごすために**

本町では3人に1人が65歳以上と高齢化が進んでいます。高齢者の皆さんは「家族や周囲

の人の世話になりたくない」と思っている人が多いようです。他の人の世話にならずに元気で過ごすためには、適切な食事、適度な運動、友人や地域の人の交流などが大切です。

町では、仲間と一緒に笑いながら体を動かす場として「元気ハツラツ」にここ「クラブ」、カメリーナ、川桁体育館や中ノ沢体育館での介護予防運動教室などを開催しています。

参加した人からは「楽しかった」「食事がいしく感じられるようになった」「関節の痛みが和らいだ」「夜、ぐっすり眠れるようになった」などの感想が寄せられています。

「膝が痛くて運動は苦手」「畑仕事はやるけど運動はしてない」「出かけたいけどきつかけがなくて」などと考えている人は、ぜひ参加してみてください。3カ月後には楽に動けるようになりますよ。

24年度の日程は、後日広報などでお知らせする予定です。ぜひ申し込んでください。

▼相談・問い合わせ先  
町保健福祉課 高齢者福祉業務  
☎(62)2115



大好きなパパとママに抱っこされて、にっこり笑顔の翔天くん

「周りのみんなを笑顔にできる、愛される人に育ってほしい」とパパとママは願っています

## 渡部 翔天 くん

平成23年7月生まれ  
～西館  
真昌さん・真里さん夫婦の長男

人形やおもちゃなど、目についたものはとりあえず口に……。いろいろなものに興味津々の翔天くん。抱っこされると、ぐんぐんと足を突っ張って遊ぶ元気いっぱいの子です。

「文武両道、何でも挑戦してほしい。3歳までは褒めて伸ばします」とママの真里さん。「自分が好きだったので、サッカーをやらせたい」とはパパの真昌さん。二人は笑顔で翔天くんを見つめます。

おじいちゃんやおばあちゃんも子育てに積極的。「きかん坊なくらいじゃないとつまらない」「普通が一番」と、家族みんなで見守りを出し合うその中心にはいつも翔天くんの姿が。翔天くんが大好きなのは、みんな一緒のようです。

※「笑顔でこんにちは」に掲載希望の人は広報担当まで申し出てください。  
☎(62)2111

### Circle introduction

集中した表情で机に向かい、輝く細かいビーズを一つ一つつなげていく。ビーズサークルトウインクルの皆さんの活動風景です。会員は現在16人、月1回、津若松市から講師を招き、作品づくりに励んでいます。学びいなまつりでは、体験コーナーや作品の販売などを実施。売り上げの一部を社会福祉協議会に寄付するなどの活動もしています。「きれいなものが完成するとうれしいですね。皆さんが身につけているアクセサリも自分で作ったものですよ」と笑顔で話すのは代表を務める渡部公子さん。「難しい作品に挑戦して、作品ができた時の達成感が一番の楽しみ」と会員の皆さんも声を揃えます。

活動に興味のある人や見学希望者は、学びいなに連絡してください。

※このコーナーでは、活動をPRしたい団体を募集します。希望する団体は広報担当まで問い合わせてください。  
☎(62)2111

## ビーズサークル トウインクル (渡部 公子代表)



(写真左) 作製中のアクセサリを手にする宇南山順子さん  
(写真右) 「作品ができた時の達成感が一番の楽しみ」と会員の皆さん

真剣な表情で作品製作に没頭する会員の皆さん



## 生涯学習課ニュース

### ■平成 24 年成人式が開催されました

町が主催する平成 24 年成人式は 1 月 8 日、学びいなホールで開催されました。国歌斉唱、前後公町長の式辞の後、地区ごとに一人ずつ新成人の名前が呼ばれ、代表者に成人証書と記念品が贈られました。その後、新成人代表の土屋恒人さんが「若く豊かな想像力を存分に発揮し、明るい日本を作り上げることが新成人に与えられた使命」と誓いのことばを述べました。

式典終了後、新成人は地区ごとに分かれ、町長らを囲んで記念撮影。友人たちや両親との写真撮影を行う姿も見られ、会場は和やかな雰囲気に包まれました。

東日本大震災後はじめての成人式。これから復興を担う原動力となる新成人の皆さんが、大人への大きな一歩を踏み出しました。



誓いの言葉を述べた新成人代表の土屋恒人さん

### ■第 58 回文化財防火デー火災防御訓練が開催されました

昭和 24 年 1 月 26 日、法隆寺金堂から出火、貴重な壁画が焼損したことをきっかけに、昭和 25 年文化財保護法が制定され、昭和 30 年には文化財防火デーが定められました。以来、この日を中心に全国各地で文化財防火訓練が展開されています。

町の文化財火災防御訓練は 1 月 22 日、小平潟天満宮で開催され、氏子らによる文化財搬出訓練、地区住民による初期消火訓練、そして、消防団員や消防署員による消火訓練などが迅速に行われました。総監を務めた前後町長は「日頃の訓練の成果がいかんなく発揮されていた」と話し、訓練を総括しました。

貴重な文化財を未来に伝えるため、文化財を管理する皆さんとともに、文化財保護へのご協力をお願いします。



消火訓練にあたる消防団員と消防署員

## 県立図書館の資料収集にご協力ください

### ■福島県地域資料ご寄贈のお願い

福島県立図書館では、県の過去・現在を未来へ伝える資料として、福島県に関する資料、ゆかりの人の著作物を収集・保存し県内外で利用できるようにしています。県や県内各地に関する資料・県にゆかりのある人の伝記などを刊行した際は 3 部、著作については 2 部、寄贈くださいますよう、お願いいたします。

### ■震災関連資料ご寄贈のお願い

23 年 3 月 11 日に発生した東日本大震災とそれに伴う県内の被災・復興に関する資料を、特に重要な資料ととらえ、重点的に収集に取り組んでいます。右記に該当する資料を刊行した人は、3 部寄贈くださいますようお願いいたします。

- 例えば、このような資料を集めています。
  - ・震災関連の写真集・記録集など
  - ・被災に関する調査報告書、復興に関する計画書・報告書、自治体が発行した広報誌の震災特別号など
  - ・被災地で発行されたミニコミ誌・フリーペーパー
  - ・個人が発行した手記、詩集など(自費出版物も含まれます)
- ※寄贈の方法は、下記に持参またはお送りください。なお、寄贈後の資料の取り扱いにつきましては、ご一任願います。

【問い合わせ・寄贈先】  
〒960-8003 福島市森合字西養山 1 番地 福島県立図書館 資料情報サービス部 地域資料チーム  
☎024(535)3218 ✉chiiki@library.fks.ed.jp

## 町体験交流協会からのお知らせ

### ■オペラシアターこんにやく座「ピノッキオ」公演のお知らせ

4 人の歌手とピアニストによるオペラシアターこんにやく座の舞台公演「ピノッキオ」が町にやってきます。この作品は、イタリアで生まれた子どもたちのための本「ピノッキオの冒険」を題材にしたオペラです。でも、こんにやく座のオペラ「ピノッキオ」は、もとのお話とは物語の最後が少しだけ違います。原作では最後に人間になったピノッキオ。こんにやく座の公演では……？お楽しみに。入場は無料ですが、事前に予約が必要です。開演後は途中入場できませんので、あらかじめご了承ください。

子どもたちに伝えたいメッセージがぎゅぎゅと詰まっているこの舞台。ぜひご家族揃ってご鑑賞ください。

- 日時：3月20日(火・祝)  
午後2時開場 午後2時30分開演
- 会場：学びいなホール ●対象：4歳以上
- 定員：440人(定員に達し次第、募集を締め切ります)

●募集締め切り：2月17日(金)  
●予約・問い合わせ先：  
学びいな窓口へ直接お越しになるか、電話で予約をしてください。予約の際、入場者全員の氏名・住所・年齢・電話番号が必要です。入場に必要の整理券は、学びいなで直接受け取ってください。



## お知らせ

### ■図書室が休みにになります

学びいな内に開設している図書室は、スペシャルオリンピックの開催や蔵書点検などのため休みにになります。通常より休みの日が増えますので、ご了承ください。

- 2月の休み：2月5日(日)、10日(金)～12日(日)、27日(月)
  - 3月の休み：3月4日(日)、12日(月)～18日(日)、26日(月)
- ※蔵書点検前の貸し出しは3月3日(土)までとなり、

点検後は3月19日(月)から再開します。  
学習のために使用したい人は、二階廊下スペースなどを利用してください。

### ■八重の桜シンポジウム中止のお知らせ

学びの泉1月号のイベントのお知らせでご案内しました、2月18日(土)開催予定の「八重の桜シンポジウム」は、主催者側の諸事情により開催中止となりました。

## 教育委員会コラム

### 第二十二回

このところ、女性宮家創設の案など皇室関係の話題が多いようだ。本町も皇室とは昔から縁の深い町である。  
天鏡閣は有名であるが、その南方三百郎ほどの地に建つ旧高松宮家ご別邸、通称「迎賓館」については、知らない人が多いような気がする。

迎賓館は、有栖川宮威仁親王殿下薨去後の大正十一年(一九二二)に、高松宮様が妃殿下喜久子様の母方の祖母に当たる有栖川宮妃殿下慰子様の静養のために建てられたものであった。妃殿下は、三カ月ほど滞在されたが、翌年薨去なされ高松宮家の所有となった。その後、昭和二十七年(一九五二)に福島県に御下賜となり、平成十一年(一九九九)には国の重要文化財に指定された。

自然石を基礎に、自然の景観(含湖水)を庭園に見立てた純和風の木造平屋建て(百七十八坪)である。檜材を主に、杉、赤松、檜の銘木が用いられ、主要座敷は、檜の四方柱の柱を始めとして、釘隠しや襖類の引き手など高価な金具がさり気なく用いられている。床の間・書院・廊下・雪見障子などに、京大工による技術の粋が尽くされ、格調高く洗練され妃殿下のご静養地にふさわしい。  
これ程見事な和風建築は、県内には見当たらず、町内にあることを誇りとしたい。機会があれば、ぜひ一度見学されることをお勧めする。(土屋)

## 募集

### 町職員採用候補者

24年度採用の町職員（資格免許職）を募集します。

▼採用職種と採用予定人数  
栄養士 1人

#### ▼受験資格

昭和57年4月2日～平成2年4月1日に生まれた人で、管理栄養士の免許を有するか24年5月末までに取得見込みの人（学歴は問いません）。

#### ▼試験の方法

一次試験

○期日 3月3日(土)

○場所 猪苗代町役場

○内容 主に人物について個別面接・小論文による試験を実施します。

#### ▼試験申込用紙などの請求方法

試験申込書と試験実施要領は、役場総務課行政管理業務で交付します。町ホームページからダウンロードもできます。

#### ▼郵送を希望する場合

封筒の表に「栄養士試験申込書請求」と朱書きし、80円分(定額の場合)の切手を貼った、あて先明記の返信用封筒を必ず同封して、総務課行政管理業務(〒969-3123 猪苗代

### 幼稚園・保育所嘱託員

幼稚園・保育所・こども園の嘱託員を募集します。

#### ▼募集職種および人員

・幼稚園教諭 若干名

・保育士 若干名

#### ▼資格要件

心身とも健康で、幼稚園教諭・保育士の資格・免許を有する人。

#### ▼勤務条件

猪苗代町嘱託員の任用等に関する規則による。

#### ▼勤務場所

町立の幼稚園・保育所・こども園

#### ▼雇用期間

24年4月2日～25年3月31日

#### ▼応募手続き

町指定の履歴書に記入し、写真を貼り付けの上、2月29日(水)までに総務課へ提出してください。



子どもたちの健全育成に意欲のある人を募集しています

町字城南100へ送付してください。

#### ▼受験申込受付期間

2月29日(水)まで

※郵送で申込書を提出する場合は、2月27日(月)までの消印有効です。

#### ▼申し込み・問い合わせ先

総務課 行政管理業務

☎(62) 21111

### 緊急雇用臨時職員

東日本大震災などにより離職後仕事に就けない人、仕事のない人、24年3月に卒業見込みで就職が内定していない高校生に就業の機会を提供するため、緊急雇用臨時職員を募集します。

#### ▼募集職種および予定人員

・技能労務員  
(施設管理作業など) 6人  
・事務補助員

(パソコン操作、書類作成など)

24人(新規高卒者を含む)

#### ▼資格要件

・失業者または24年3月までに失業することが決まっている人  
・24年3月に高校を卒業見込みで就職先が内定していない人  
・非常勤特別職の地方公務員は、雇用されない場合があります。  
・過去に緊急雇用創出基金事業で雇用されたことがある人も応募できます。

#### ▼選考試験

選考試験があります

#### ▼申し込み・問い合わせ先

総務課 行政管理業務

☎(62) 21111

### 水道メーター検針員

水道メーターの検針業務に従事する検針員を募集します。



#### ▼勤務内容

毎月25日から翌月5日までの間に約500～700件の水道メーター(量水器)を検針する。

#### ▼募集人員

10人

#### ▼応募資格

65歳以下(4月1日現在)で町内に住所があり、健康状態が良好な人

#### ▼賃金

量水器1個の検針につき91円

#### ▼応募手続き

市販の履歴書に記入し、3カ月以内に撮影した写真を貼り付けの上、2月29日(水)までに上下水道課に持参してください。

#### ▼選考

書類選考で決定します

▼申し込み・問い合わせ先  
上下水道課 水道管理業務

☎(62) 5622

### 個別事業一覧

### 24年度 緊急雇用創出基金事業(震災対応事業)

No.	担当課	事業名	職種	日額(円)	募集人数
1	総務課	文書受付・発送事務体制強化事業	一般事務	7,210	2
2	町民生活課	放射線量低減化対策事業	一般事務	7,210	4
3	町民生活課	生活環境業務体制支援事業	一般事務	7,210	1
4	町民生活課	国保年金業務体制支援事業	一般事務	7,210	1
5	税務課	税務業務体制強化事業	一般事務	7,210	1
6	農林課	有害鳥獣駆除対策事業	一般事務	7,210	1
7	農林課	水田台帳整備事業	一般事務	7,210	1
8	保健福祉課	障害者サービス強化事業	一般事務	7,210	1
9	保健福祉課	個人線量測定結果分析および検診事業	一般事務	7,210	1
10	保健福祉課	予防接種データ等管理推進事業	一般事務	7,210	1
11	商工観光課	商工観光業務体制支援事業	一般事務	7,210	2
12	教育総務課	教育総務事務処理体制強化事業	一般事務	7,210	1
13	生涯学習課	体験交流館運営支援事業	一般事務	7,210	2
14	保健福祉課	介護保険サービスなどの提供に関する事業	介護支援専門員など	7,210	2
15	保健福祉課	地域活動支援センター利用促進事業	介助員	8,150	1
16	保健福祉課	母子健康推進事業	保健師・看護師など	8,150	2
17	総務課	公共財産環境整備事業	労務員	8,150	2
18	農林課	地域農業活性化支援施設運営事業	労務員	8,150	2
19	農林課	優良堆肥製造散布事業	労務員	8,150	2

#### ▼勤務条件

猪苗代町緊急雇用創出基金事業における臨時職員の雇用等に関する規則による。

#### ▼応募手続き

町指定の履歴書に記入し、写真を貼り付けの上、次の書類を添えて2月29日(水)までに総務課に提出してください。履歴書は総務課に備え付けてあります。町のホームページにPDFを掲載しています。

「離職者」離職日が確認でき

## 講座

### 24年度食改さん養成講座受講生募集

食生活改善推進員は、「私達の健康は私達の手で」をスローガンに、食を通じたボランティア活動を行っています。自分が動くことで誰かが健康になれる、素敵なやりがいのある活動です。活動の中で、たくさん笑顔や「ありがとう」に出会えます。

まずは自分のために、そして家族、地域みんなのために、健康づくりの勉強をしてみませんか?健康の基本は「運動」「休養」「食」の三本柱です。この講座では「食」を中心に健康づくりについて楽しく学びます。毎回新たな発見があるはずですよ。

#### ▼対象

町内在住の人(平日の日中、研修会に参加できる人)

#### ▼受講期間

24年4月～25年3月(月1、2回程度)

#### ▼研修内容

健康づくりのための講義・調理実習・運動など

#### ▼受講料 無料

#### ▼申込方法

3月23日(金)までに、保健

福祉課健康づくり業務に電話で申し込んでください。

#### ▼申し込み・問い合わせ先

保健福祉課 健康づくり業務

☎(62) 21115

### 認知症サポーターの養成講座を開催

認知症になっても安心して暮らせる猪苗代町を目指して「認知症サポーター」養成講座を開催します。

認知症サポーターとは、何か特別なことをする人ではありません。認知症を正しく理解し、認知症の人や家族を地域で温かく見守り、支援する応援者です。

地域の人のために、自分の大切な人のために、認知症について一緒に考えてみませんか。

#### ▼開催日時

2月24日(金) 午前10時～午前11時30分

#### ▼開催場所

学びいな 研修室A・B・C

▼内容 認知症を理解する(認知症とはどんな病気か、認知症の人と接するときの心構え、私たちが地域でできることは…など)

#### ▼参加費 無料

▼定員 30人

#### ▼参加申し込み・問い合わせ先

保健福祉課 高齢者福祉業務

☎(62) 21115

## 選挙

### 猪苗代町議会議員選挙 は2月19日(日)

任期満了に伴う猪苗代町議会議員一般選挙が執行されます。町の将来を決める大切な選挙です。棄権しないで投票しましょう。

- ▼選挙期日 2月19日(日)
- ▼投票時間 午前7時～午後6時
- ▼その他

投票には入場券を持参してください。候補者の氏名は、はっきり書いてください。

- ▼期日前投票実施日 2月15日(水)～2月18日(土)
- ▼期日前投票時間 午前8時30分～午後8時
- ▼期日前投票場所 町役場一階 町民ホール



皆さんの思いを町の将来に反映させるチャンスです。棄権せずに投票しましょう

## 手当

### 子ども手当の申請は 済みですか？

子ども手当特別措置法の成立に伴い、23年10月以降の子ども手当を受給するためには、改めて申請をして認定を受ける必要があります。

23年10月1日時点で支給要件に該当している人は、24年3月30日までに申請をしていただくことができません。忘れずに申請手続きをしてください。

- ▼子ども手当制度のしくみ
  - 支給対象となる子ども 0歳から15歳になった後の最初の3月31日までの間にある子ども
  - 支給対象者 支給対象となる子どもの養育者
  - 支給金額 (子ども1人につき月額)

- ▼開票 午後8時から町総合体育館(カメリーナ)で実施します。開票会場にお越しの際は、必ず上履きを持参してください。
- ▼問い合わせ先 町選挙管理委員会事務局 電話(62)2111

### アナログ放送終了まで、2カ月を切りました

アナログ放送は、3月31日正午からブルーバックの「お知らせ画面」に移行し、同日24時までには全ての放送が終了します。アナログ放送の終了時期が近づくとともに、アンテナ設置や調整などの工事が集中することが予想されますので、早めに地デジの準備をしてください。

- ◇地上デジタル放送を視聴するためには
  - ①地上デジタル放送対応のテレビに買い換える
  - ②地上デジタルチューナーを買い足す
 ※現在使用しているアンテナや屋内配線を交換しなければならない場合もあります。

◇地デジの準備でお困りの場合は「何をすればいいかわからない」「テレビを買ったのにデジタル放送を受信できない」など地デジの準備で困っている人は、デジサポ福島、総務省地デジコールセンターか町役場総務課まで連絡してください。

■デジサポ福島 ☎024(505)1010  
総務省地デジコールセンター ☎0570(07)0101  
総務課 行政管理業務 ☎(62)2111

## お知らせ

### 本年もおひな様めぐり を実施します

昔懐かしいおひな様を愛でながら、中央通り商店街を散策しませんか？

- ・3歳未満(一律) 1万5000円
- ・3歳以上小学校終了まで 第1、2子 1万円
- ・第3子以降 1万5000円
- ・中学生(一律) 1万円
- ・18歳以下の子どもの中で年齢の高いものから第1子として数えます。

▼申請手続き 10月下旬に申請に必要な書類を送付しておりますので、請求書に必要事項を記入し、保健福祉課まで申請してください(請求者が厚生年金などに加入している場合には、請求者の健康保険証の写しを添えてください)。

- ※10月以降に子どもが生まれた人や転入した人は、出生日または転入日の翌日から15日以内に申請してください。
- ▼問い合わせ先 保健福祉課 社会福祉業務 電話(62)2115

## 相談

### 人権擁護・行政相談委員 合同相談会

町では次の日程で人権擁護委員と行政相談委員の合同相談会を開催します。いじめやDVなどの人権問題や法律についてこの機会にぜひご相談ください。

- ▼開催日時 3月7日(水) 午前10時から午後3時
- ▼場所 役場3階 日本間
- ▼その他 相談無料・秘密厳守
- ▼問い合わせ先 総務課 秘書広報業務 電話(62)2111

### 行政相談委員に相談し てみませんか

- 行政相談委員の定例相談を実施します。定例相談は毎月1回第3水曜日に開催しています。
- ▼猪苗代町行政相談委員 宮沢 重正さん(下館) 電話(66)3995
- ▼開催日時 2月15日(水)、3月21日(水)

本年度の猪苗代おひな様めぐりでは、会津若松市、会津美里町や喜多方市と共に「ぐるっと会津のひなめぐりスタンプラリー」を開催。会津地方が一体となって、地域の皆さんも観光客も楽しめるイベントとして開催します。

- ▼開催期間 2月4日(土)～3月3日(土)(※まちのえきまるしめは3月4日まで)
- ▼展示会場 中央通り商店および町内参加店(店先ののぼりが目印)

▼内容 昔なつかしいおひな様、つるし雛、掛け軸やお人形などを展示します。まるしめでは、開催期間中、起上り小法師の絵付け体験を実施します。

- ▼特別開催日 青木宗寛社中によるお茶会 2月12日(日)、26日(日)、3月3日(土)
- ・いなわしろの民話の会による民話の語り
- ・2月25、26日の両日(土、日)

▼問い合わせ先 (株)まちづくり猪苗代 電話(72)1415

### あなたも昭和初期にタイムスリップ

昭和初期の嫁入り行列を再現

## 掲示板

### 告示

- ・第154号「差押書の公示送達について」(税務課収納業務)
- ・第155号「充当通知書の公示送達について」(税務課収納業務)
- ▼問い合わせ先 総務課 秘書広報業務 電話(62)2111

- ・第154号「差押書の公示送達について」(税務課収納業務)
- ・第155号「充当通知書の公示送達について」(税務課収納業務)
- ・第157号「平成23年第8回定例議会招集」(総務課行政管理業務)
- ・第158号「猪苗代町高齢者肺炎球菌ワクチン接種事業実施要領」(保健福祉課健康づくり業務)
- ・第159号「充当通知書の公示送達について」(税務課収納業務)
- ※告示・公告された内容については、役場前掲示板をご覧になるか、それぞれの担当課に問い合わせください。

## 猪苗代警察署管内の犯罪・交通事故発生状況(平成23年12月31日現在)

### 1 犯罪発生状況

町村別	年別	平成23年	平成22年	増減	増減率%
猪苗代町		69	94	-25	-26.6
磐梯町		10	15	-5	-33.3
裏磐梯		9	12	-3	-25.0
計		88	121	-33	-27.3

町村別	猪苗代町		磐梯町		裏磐梯	
	23年	22年	23年	22年	23年	22年
窃盗犯計	59	77	9	10	9	11
空き巣		2				4
金庫破り						
事務所荒らし						
出店荒らし	4	1	1			
倉庫荒らし		2				
侵入盗その他	2	2	1		2	1
置き引き	1			1		
車上ねらい	5	8	1		2	1
部品ねらい	1				1	
脱衣場ねらい	3	3				1
自販機ねらい		6				
万引き	16	14				
職場ねらい		2				
さい銭盗	1	2				
畑荒らし						
スキー・スノーボード盗	7	4	2	7	1	2
非侵入盗その他	7	21	4	1	3	2
自動車盗		2				
オートバイ盗						
自転車盗	12	8		1		
その他の乗り物盗						
暴行・傷害		2		2		
詐欺・横領	4	3				
遺失物等横領		2				1
器物損壊	4	8		2		
その他の刑法犯	2	2	1	1		
総計	69	94	10	15	9	12
増減		-25		-5		-3

◎地域一体となって犯罪抑止に取り組んだ結果、平成23年は犯罪が減少しました。

◎引き続き、犯罪の起きにくい社会づくりに、協力をお願いします。

### 2 交通事故状況

死亡事故	4	2	0	0	0	0
増減		2		0		0
人身事故	91	84	8	17	5	9
増減		7		-9		-4

◎地吹雪の恐れがあります。荒天時には昼夜に関わらずライトをつけましょう。

◎路面が光っているときは、凍結しています。速度は控えめにしましょう。

## お知らせ

### 原子力損害賠償請求の無料個別相談会を開催

東京電力福島第一原子力発電所の事故で生じた損害について、賠償請求手続きが進められていますが、被害者の多くは「申請書類の書き方が分からない」「必要書類が揃わない」など、さまざまな困難に直面している状況にあります。

原子力損害賠償支援機構では、県内の各会場で弁護士や行政書士による無料個別相談会を実施し、被害者の皆さんを支援します。請求手続きについて不明な点などがありましたら、気軽に相談してください。

#### ●2月、3月の開催日時・場所など

【会津地区】会津労働福祉会館(会津若松西栄町7-9)

第2、第4週の木曜日と土曜日  
午前10時～午後6時

【郡山地区】原子力損害賠償支援機構福島事務所

(郡山市駅前一丁目15-6)

火・木曜日を除く毎日

午前10時～午後6時

#### ●留意事項

1時間の無料相談で、事前に予約が必要です。下記の番号から予約をしてください。

※相談予約番号(フリーダイヤル)

☎0120(330)540

受付時間 午前9時～午後5時30分

☎町風評被害対策連絡会議 事務局  
商工観光課 ☎(62)2117

### 震災体験・記録・記憶 教訓などを後世に残す

県では、次の世代に継承するため、東日本大震災の体験、記憶、教訓や記録(ホームビデオなどや携帯電話などに記録された映像など)を募集しています。協力していただける人は、下記の連絡先に電話、ファクスまたはメールで連絡をお願いします。体験、記憶や教訓などについては、話していただいている状況を映像として収録し、収集します。詳しくは下記に問い合わせください。

【連絡先】福島県歴史資料館

(福島市春日町5番54号)

☎024(534)9220

(受付時間 午前9時～午後4時30分、土・日・祝日・年末年始・臨時休館日を除く)

FAX 024(534)9195

☒office@history-archives.fks.ed.jp

### 税理士記念日にちなみ 税の無料相談会を開催

税理士記念日に「税の無料相談」を実施します。税に関してのご質問ご相談をお受けしますので、ぜひこの機会をご利用ください。

●開催日時 2月23日(木)

午前10時～午後4時

●開催場所 アピオスペース 2階会議室

●相談員 東北税理士会 会津若松支部税理士

☎東北税理士会会津若松支部  
支部長 遠藤久 ☎(32)1960

### 自動車の登録・検査などの手続きはお早めに

自動車の登録・検査手続きは、毎年3月に集中し、窓口や車検場が大変混雑します。名義や住所の変更、廃車や車検などの手続きは2月中にするなど、できるだけ早めに済ませてください。

☎東北運輸局 福島運輸支局

登録関係 ☎050(5540)2015

検査関係 ☎024(546)0342

## 補助金

### 地域づくり、人づくり 実践団体に補助金交付

全会津17市町村などで構成する「あいづふるさと市町村圏協議会」では、地域づくり・人づくりなどを積極的に実践する団体を支援するため、ソフト事業を対象とした補助金を交付します。詳しくは、下記に問い合わせください。

#### ●募集期間

2月20日(月)～3月19日(月)

●補助金額 最大70万円

(補助対象経費の3分の2以内)

●対象事業 広域的な波及効果があるソフト事業、地域の特色・特徴を出したソフト事業、地域間交流につながるソフト事業など

#### ●申請書の入手方法

①あいづふるさと市町村圏協議会のホームページからダウンロード

「パーフェクトあいづ」

http://www.aizu-furusato.com

②同協議会事務局で入手

③町企画財務課企画調整業務で入手

#### ●申請窓口

町企画財務課企画調整業務に提出

●結果通知 5月下旬予定

☎企画財務課企画調整業務

☎(62)2112

あいづふるさと市町村圏協議会

事務局 ☎(24)6312

## 消 防

### 3月1日から7日まで 春の全国火災予防運動

3月1日(木)から7日(水)までの間「消したはず 決めつけないで もう一度」をスローガンに、春の全国火災予防運動が実施されます。

最近、火災のニュースが多く、世間を騒がせています。火災を他人事と考えずに、火災予防の7つのポイントを再確認してください。

#### 火災予防の7つのポイント

①寝たばこやタバコの投げ捨てをしない ②子どもにマッチやライターで遊ばせない ③天ぷらを揚げるときには、その場を離れない ④風が強いときにはたき火をしない ⑤家のまわりに燃えやすいものを置かない ⑥電気器具は正しく使い、たこ足配線はしない ⑦ストーブには燃えやすいものを近づけない

#### 住宅用火災警報器、設置しましたか?

※消防法で全ての住宅に住宅用火災警報器の設置が義務付けられました(原則として寝室と階段に設置が必要です)。

☎猪苗代消防署 ☎(62)4433

### 消防本部からお知らせ 消防指令センター移転

会津若松地方広域消防本部と喜多方地方広域消防本部は3月1日から、共同で新しい消防指令センターの運用を開始します。これに伴い、指令センターの電話番号が変わりますのでお知らせします。

●名称 会津若松地方・喜多方地方消防指令センター

●新電話・FAX番号

☎(59)1420 FAX(59)1430

※災害情報案内は☎(25)1133で変更ありません。

プライバシー保護のため、ホームページ掲載分の  
 消息欄は削除しました。ご了承ください。

### 善意をありがとうございます

○震災復興事業協力金として  
 除夜の鐘つき実行委員会  
 代表 安達寿人さん 4,311円  
 町内在住の匿名の人から  
 12,000円

### 町の人口

24年1月1日現在の現住人口	人口	15,840人	
	世帯数	5,004戸	
出生	6人	転入	34人
死亡	26人	転出	16人

●固定資産税	4期分
●国民健康保険税	8期分
●介護保険料	8期分
●後期高齢者医療保険料	7期分
●上下水道使用料	2月分

今月の納期 (納期限2月29日)

## 編集後記

▼ピックアップで紹介したモーグルの遠藤尚選手が、カナダで開催されたW杯モーグル第5戦で4位入賞を果たした。今年から導入されたスパーファイナル方式じゃなければ2位だったのに。一つでも多く表彰台に」と語った遠藤選手。その実現は間近なようだ。▼町内でもスキーシーズンが本番を迎え、各種大会で頑張る小・中・高校生の取材を行った。彼らの頑張りや真摯に競技に取り組む姿勢は、非常に刺激になる。同時に、応援やお手伝いで会場を訪れている父兄の皆さんの頑張りに頭が下がる思いだ。自分の子どもだけでなく、学校の子、地域の子を分け隔てなく応援・指導している姿は、みんな協力して子どもを育てているようだ。▼こうして育った子どもたちが、毎年成人式を迎えている。この町の成人式で事件など起きない理由がわかった気がする。(大坂)

# みんなの美術館

2月は長瀬小学校のお友達の作品です

## Our Museum



### 「不思議なかめと遊んだよ」

ローラーを使い、色を重ねて描いた大きなカメと海の中で遊んでいるところを書きました。周りにもたくさんのカメや魚などがいるところがお気に入りです。



小畑 翔矢さん(3年)



野矢 隆史さん(5年)

### 「トランペットが泳いでる？」

トランペットを見ながら描いた絵や好きな魚の絵を切り抜き、背景の上で並べながら完成させました。上手に描けた大きいトランペットがお気に入りです。



## 食生活改善推進員コーナー

～旬の野菜でカンタン料理～

No.177

### リンゴのコンポート (高血圧予防おやつ)



#### 【材料】4人分

リンゴ 2個・サツマイモ 8割分・バナナ 1本・赤ワイン 100<sup>ミリ</sup>・水 100<sup>ミリ</sup>・レモン汁 大さじ2・砂糖 大さじ1/2・プレーンヨーグルト 80<sup>グラム</sup>・ミント 適宜

#### 【作り方】

- ① 皮をむいたリンゴを8等分に切り、皮はとっておく。サツマイモとバナナは1割幅の輪切りにする。
- ② ①のリンゴの皮を敷いた鍋に、リンゴ、サツマイモ、赤ワイン、水、レモン汁、砂糖を加えて煮る。
- ③ ②のリンゴとサツマイモが軟らかくなったら、バナナを加える。
- ④ ③を器に盛り、ヨーグルトとミントを添えたら出来上がり。

【一人当たりの栄養量】 エネルギー 201<sup>キロカロリー</sup>、脂質 1.0<sup>グラム</sup>、タンパク質 2.0<sup>グラム</sup>、炭水化物 46.4<sup>グラム</sup>、食物繊維 3.6<sup>グラム</sup>、カルシウム 96<sup>ミリグラム</sup>

#### ■一口メモ■

リンゴ、サツマイモ、バナナはカリウムと食物繊維が豊富です。カリウムや食物繊維は減塩をサポートしてくれる栄養素です。リンゴの皮を敷いて煮ることで、鍋の焦げ付きを防ぎます。